

令和4年度

「運営に関する計画」

大阪市立加美小学校

令和4年4月



大阪市立加美小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題 令和3年度の小学校学力経年調査の結果は次の通り。

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は85.9%。
- 不登校児童の在籍比率は0.80%。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は31.6%。
- 国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較した数値は、
6年生：国語7・算数5。5年生：国語5・算数7。4年生：国語5・算数5。
- 「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、73.6%。
- 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は、54.6%。

結果から、学びに向かう積極的な姿勢の涵養の必要性が鮮明になり、それに繋がる「わかる・できる」を実感できる学習環境、感動のある活動・体験の場、自尊感情を高める日々の学校生活を創り出すことが求められる。本校独自の教育理念「子どもの笑顔のある学校」を柱として令和4年度から7年度まで、次に掲げる中期目標の達成のために学校運営の計画に沿って取り組む。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
(R4:87% R5:88% R6:89% R7:90%)
- 毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
(R4:34% R5:36% R6:38% R7:40%)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、毎年度、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。
(R4:74% R5:75% R6:76% R7:77%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする。
(R4:55% R5:56% R6:58% R7:60%)

【学びを支える教育環境の充実】

【ICTの活用に関する目標】

授業日において学習者用端末を毎日使用する。(R4:2回/週 R5:3回 R6:4回 R7:5回)

【教職員の働き方改革に関する目標】

時間外勤務時間上限基準の達成率を基準1「60%」基準2「90%」を保つ。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。（令和7年度目標：85%）

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

- ・小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。（令和7年度目標：77%）

【基本的な方向2 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を34%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を55%以上にする。

学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対する肯定的な回答を65%以上にする。

【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

【ICTの活用に関する目標】

授業日において学習者用端末を週2回以上使用する。

【教職員の働き方改革に関する目標】

時間外勤務時間上限基準の達成率を基準1「60%」基準2「90%」を保つ。

学校園の年度目標

【ICTの活用に関する目標】

「心の天気」を入力する習慣をつける。

【基本的な方向6 教育DXの推進】

【教職員の働き方改革に関する目標】

ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】

(様式2)

大阪市立加美小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。(令和7年度目標: 85%) <p style="text-align: right;">【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。(令和7年度目標: 77%) <p style="text-align: right;">【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>障がいに対する理解の深化を図り「共に学び・育ち・生きる教育」を推進する</p> <p>指標: 月に一度、年に11回の全職員による「特別支援教育連絡会」を開催する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>いじめを確実に認知し教職員内で周知徹底し指導する。</p> <p>指標: 月に一度、年に11回の全職員による「生活指導連絡会」を開催する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>生活指導部を中心に児童が主体的に行動できる取組を行う。</p> <p>指標: 月ごとの明確な生活目標を提示し、児童朝会で年間6回以上(各学期2回)の生活指導に関する指導を行う。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>自尊感情の向上を目指し、校内で表彰する機会を増やす。</p> <p>指標: 地域によるあいさつコンクールを実施するなど年度末に児童朝会で表彰する。校長表彰を年3回以上実施する。(個人表彰・学年表彰など)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立加美小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 34% 以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語 (英語) の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 74% 以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 55% 以上にする。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対する肯定的な回答を 65% 以上にする。 <p style="text-align: right;">【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>15 分間の集中トレーニングを実施する。</p> <p>指標: 週 5 回の実施を目指す</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>読書への関心を高めるため、PTA 読書感想文コンクールを実施する。</p> <p>指標: ひらちゃん読書ノートの受賞者を各学年 10 名以上出す</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>研究授業と若手研修の充実を図る</p> <p>指標: 研究授業を 6 回実施 (含む 人権教育実践交流会・発表)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>運動能力・運動習慣の向上を目指した取組を計画的に実施する</p> <p>指標: かけあし週間、なわとび週間を年に 1 回以上実施する</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立加美小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>【ICTの活用に関する目標】 授業日において学習者用端末を週2回以上使用する。</p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標】 時間外勤務時間上限基準の達成率を基準1「60%」基準2「90%」を保つ。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>【ICTの活用に関する目標】 「心の天気」を入力する習慣をつける。 【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標】 ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>1人1台端末の環境を生かし、個別最適な学びに向けた取り組みを進める</p> <hr/> <p>指標: 「心の天気」を入力する習慣をつけるため、朝の時間に週2回以上タブレットの操作を行う</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>学校における働き方改革を推進する</p> <hr/> <p>指標: 職員会議・職員朝会などで働き方改革に関する啓発を、各学期2回以上行う</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向9】</p> <p>学校協議会を中心に特色ある取り組みを進める</p> <hr/> <p>指標: 土曜授業日に加美ふれあい広場を実施する。学校の「基本理念作成 (子どもの笑顔のある学校)」の完成、及び「卒業レポート作成」のプロジェクトを実施する</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

